

月刊 あだづし

157号

今後の練習のご案内

7月24日 (日)	12:00 ~ 15:00
8月7日 (日)	12:00 ~ 15:00
9月4日 (日)	12:00 ~ 15:00
9月11日 (日)	12:00 ~ 15:00
9月18日 (日)	12:00 ~ 15:00
9月25日 (日)	12:00 ~ 15:00

千寿本町小学校 スリッパ持参

参加費:1000円 マスク着用

8月と9月の練習

8月は学校の予定もあり、7日しか学校が使えませ

るので、8月の練習は1回になります。

その分、9月に4回（毎週日曜）の練習予定です。

楽譜の訂正と変更

先月号に楽譜の訂正と変更を載せてあります。

必ず読んで、楽譜に記入しておいてください。

陶山先生から

皆さん、お元気ですか？

暑い日が続いてますね。と言ってもまだ7月なん
ですよ。8月9月もこの暑さが続くんでしょう
か？一説には、梅雨入りが早かったので、また、
梅雨に戻るかも知れない、という報道もありまし
たが。

ところで、先月初孫が産まれました。男の子で
す。3200g。母子ともに健康で一安心です。

今はコロナだということで、父親も病院で直に合
うことはできず、もちろん我々も会えませんでした。
た。

退院しても、ずっとお嫁さんの実家にいたので、
妻は何回か相手の実家に会いに行ってましたが、
僕はその暇もなく、会えたのは先週のお宮参りの
時でした。相手の実家のそばの「布施弁天」とい
うところで、お祓いをしてもらいました。

思い出してみると、自分の子供が生まれたとき
は、かわいいというよりも先に、世話をする大変
さばかりが記憶に残っています。

ミルクを飲ませたり、おむつを替えたり、夜中に
泣くのをあやしたり……。熱もしょっちゅう出
しました。もちろん妻が中心になってやってまし

田辺先生から

たが、僕もそれなりに大変でした。なんだかあつという間の子育てだった気がします（二人目の時はかなり楽でしたが）。

孫も、夜中にずっと起きているタイプみたいで、息子夫婦は苦勞しているようです。でも、それもあつという間だと思えます。子供が生まれてきたことに感謝して、楽しく子育てをしてほしいと思います。

ところで、僕の次男が独立したいというので、一駅先にアパートを借りて一人暮らしを始めました。勤め先は成田なので、我孫子のひとつ成田寄りの「東我孫子」という駅です。そんな近いところに住むのは意味がないようにも思いますが、本人はどうしても一人で住んでみたいなのでしょう。車で10分くらいの距離です。

おかげで、我が家は子供が生まれる前の二人暮らしとなりました。実際にはチワワが一匹いるのでそれほど静かではないのですが。まあ、あの頃に戻ったと思えばそう寂しいことでもありませんよね。二人（と一匹）暮らしをエンジョイしたいと思います。

では、今日も楽しく歌いましょう。

皆さま、こんにちは。お元気ですか？

今が梅雨なのか？と思うようなジメジメとした鬱陶しいお天気が続きますね。

6月に東京で36度の最高気温になった時は「8月はどうなる？」と不安になりましたが、7月半ばの今は平年並みの気温でしょうかね。

私は暑いのが苦手。寒ければ着ればよい、歌えば暑くなる、青竹踏めば血行が良くなる、ですが暑いのはどうしようもない。

6月のあのと～っても暑い日が、たまたま仕事が休みだったので、軽井沢に逃げました。

（別荘があるわけではありません）

上野から新幹線で1時間。近いでしょ。

「狭い日本、どこに行っても暑いよ」と言われましたが、日向は確かに暑かったですが、日陰は涼しい。サイクリングしても気持ちよかったですし（36度の東京だったら自転車のサドルも熱くなっていたでしょう）、日陰なら露天風呂も気持ちよく入れました（久々の温泉）。清流の音を聞いていると涼しげでしたし（水も冷たく）、芝生のところでボ～っとし

ているのも本当に気持ちよかったです。

軽井沢にしては平年よりも気温が高い日でしたが、東京にいるよりはかなり楽で、リフレッシュできました。

が、、、夜、東京に戻ってきたら、ムワ〜っとした暑さ。でも、1日でもリフレッシュできたのはよかったかも。。。

平日の丸1日休みの日が出来ると、日帰り旅というのが私の楽しみです。また秋にどこかに行くことができるといいなあ（行きたい所は決まっているのですが）

新型コロナウイルスの感染者も増えてきました。感染対策と熱中症対策に気をつけて、水分補給も忘れずに今月も元気よく歌いましょう。歌って元気、免疫力アップしましょう。

楽譜のお話

音の役割 2

前回（154号）は「ド」「シ」などの、とても大切な音について書いてみました。今回は、少しわき役的な音です。でも、これらもとても大切な音です。

「ミ」

「ミ」は調性（長調か短調か）を決めるととても重要な役割があります。「ミ」がそのままの「ミ」だと、その曲は「長調」と言うことになりませんが、仮に「ミ」が「b(フラット)ミ」だとすると、その曲は「短調」に決定します。「ド〜レ」ときて「ミ」がそのままか、あるいはb(フラット)かによって、その曲の性格は真逆になってしまうのです。

「ファ」

「ファ」は前回も書きましたが、もう少し書いてみます。「ファ」は「ミ」の家来です。多くの場合「ミ」の前には「ファ」がいます。「ミ」はその曲の性格（ネアカかネクラか、つまり「長調」か「短調」か）を決める決め手だといいましたが、その運命の瞬間の前に必ずいるのが

「ファ」です。「ファ」かめでたく半音だけ下がれば「長調」、不運にも全音下がってしまったら「短調」に決まってしまう。一体「ファ」はどっちに行くのか……。目がはなせない音なんです。

「レ」と「ラ」

残るのはこの二つです。音階の音の中ではもっとも地味な存在です。でも何事もそうですが、

このような「縁の下の力持ち」的な存在がなければ世の中は成り立ちません。すべての人がスターであり、目立ちたがり屋だったとしたら、大変なことになるでしょう。そう。この二つの音はとても控えめで自分を主張しません。オーケストラで言うと「第二ヴァイオリン」みたいなものでしょう。テレビでやってましたが「第二ヴァイオリン」をずっと弾いていると、性格まで地味になるそうです。その言葉通り「レ」と「ラ」地味な存在ですが、この二つの音がなければ曲やメロディが成り立たないし、たとえば重要な役割でないとしても（野球で言うと二番バッターみたいなもの）、どうしても必要な音なのです。

発声のお話

コロナ禍から発声障害に悩む方が増えているそうです。声を出す機会が減り、声が出にくくなった（声を出すための筋肉の衰え）という方と、マスクで聞こえにくくなった声をシッカリだそうと力を入れすぎて声帯を痛めるという方がいるらしいです。

歌に関して言えば、鼻から顎までをしっかりとマ

スクで覆っているのです、口をあまり開かないで歌う癖が出来ているように思います。唇をあまり開けなくても口の中が広く開いていればよいのですが、口内全体が開きにくくなっているのではないかとと思います。

そして、マスクで覆われているので顔もあまり動かすことがなく、頬の筋肉も動きにくくなり、声の響くところが低くなっているようにも思えます。

是非、ご自宅で口の体操や顔の体操をしてみてください。そして歌う時は、マスクの鼻の骨より上（目の方）に声を響かせるように気にして歌ってみてください。

ホームページ

あだちフレンズハーモニーのホームページには、過去の「月刊あだフレ」、今後の練習日、音取り音源（youtube）、過去の演奏等が載っています。

また練習日記には、その日に練習した内容が載っています。復習に是非ご活用ください。

<http://adafre.web.fc2.com/index.html>



月刊あだフレ 第157号 2022. 7. 17.発行